

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生徒指導課

担当名: 総務・登校支援・中退防止担当

内線: 6745

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B35	地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令				宣言項目	06 次代を担う人財育成		
						分野施策	030625 様々な課題を抱える子供たちへの支援		
1 事業概要	<p>中途退学者等の多くは、コミュニケーション能力や家庭等に課題を抱えており、自立が出来ていない。このような自立が出来ていない若者が、高校を中途退学することは、社会的な孤立に繋がる。結果、貧困の連鎖に繋がるなど課題も多い。そこで、学校と自立支援機関のネットワークを構築し、社会参画・就労を見据えた自立支援指導等を行うことにより、在学中から社会性の育成を図り、就労意欲を醸成し、中途退学の防止へ繋げるものである。合わせてやむを得ず中途退学した者についても、フォローアップ出来る体制を整えるものである。</p> <p>(1) 自立支援機関と連携した居場所づくり △1,861千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 自立支援機関と連携した居場所づくり 44,443千円 「地域若者サポートステーション」と連携し、多様な経歴を持つ方の力により、個人指導や社会的自立を促す取組などの各種事業を行い、生徒の自立に必要な社会性や実践的能力を育成する。併せて、事業を通じて当該機関と学校・生徒の関係性を構築し、学校はもとより、中退や卒業後無業者となった若者の居場所となる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 地域の大人との関係づくり 個人の抱える課題にきめ細かく対応するために、個人指導を実施し、対人スキルのレベルアップを図る。 (定時制高校: 年3回、全日制高校: 年1回)</p> <p>イ ソーシャルスキルトレーニング コミュニケーション能力の向上を図り、学校生活への意欲を向上させる。(定時制高校: 年1～3回)</p> <p>ウ 社会体験活動 社会参画に対する興味・関心・意欲の向上を図るために、定時制高校で1回(主に3年次)実施する。</p> <p>エ 随時相談 個人指導をフォローアップするため、多様な経験を持つ企業や地域の方等による面談を随時行う。</p> <p>オ 中途退学に関する相談会の開催 中途退学を考えている生徒又は中途退学してしまった生徒とその家族等を対象に年2回実施する。</p> <p>カ 事業魅力アップ推進会議の開催 事業実施についての情報交換、改善を図るために、サポートステーションの事業担当者会議を年2回、事業校担当者会議を年1回実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 地域若者サポートステーションとの連携事業を実施することにより、若者の対人スキル等を育てることが出来る。</p> <p>イ 中途退学又は高卒無職後、自立支援機関に円滑に繋ぐことが出来る。(中退後の居場所づくり)</p> <p>ウ 自立に必要な能力を身に付け、中途退学の防止に繋げる。(学校での居場所づくり)</p> <p>(4) 補正予算の概要 事業費の節約等による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,861							△1,861	44,443
現計額	46,304							46,304	